

私はカザフスタン日本センターで3年ぐらい日本語を勉強しています。日本に行けると聞いて、とてもしあわせでした。さいしょ、私はしんじられませんでした。

けんしゅうはくわしくけいかくされていました。日本に行くまえ、かんさいセンターからいろいろなアンケートが送られてきました。たとえば食べ物のこのみとか、アレルギーのある食品とか、しゅうきょうじょうたべられない食品とか。しよるいのてつづきがたくさんあって、たくさん時間がかかりました。日本に2週間じゃなくて2年いくようなかんじがしました。くわしいけいかくとか、こまかいところまでちゅういするのはとてもにほんてきですね。参加者がかいてきにすごせるようにじゅんぴされていました。



清水寺

私は日本に行くとき、かんさいセンターに行けるか、みつげられるか、日本語で聞くことができるかとしんぱいしていました。しかし、私のしんぱいはむだでした。よくじゅんぴされていて、しゅっぱつまえにくわしいせつめいしょをもらいました。なにを日本にもっていくか、日本の天気かどうか、どんなプログラムか、きっぷをどやってかうか、どうやってセンターに行くか、くわしくせつめいしょにかかれています。

1日目、かんさいくこうとうちやくしたとき、日本のハイテクを見ることができました。私はかんさいくこうをみてびっくりしました。くこうはうみの中の人工島にあって、島からながいはしがかかっています。もらったせつめいしょのおかげでぶじにかんさいセンターにつきました。



関西空港のはし

センターでは日本語、でんとう文化、ホームビジット、大阪ツアー、京都、広島旅行など、いろいろなかつどうがありました。関西センターの先生とコーディネートのおかげで、わすれられないおもいでができました。すべて、さいこうでした。

日本にいる時、いろいろなかんそうをもち、おもしろいことをたくさん見ました。わたしが見たことをみなさんにつたえます。

1日目、でんしゃに「Ladies only」とかいているのをみてびっくりしました。私の国で、女の人だけのでんしゃはありませんので、おもしろいです。日本では、でんしゃがとてもにんきです。でんしゃにのれば、日本でおきなわいがい、どこでも行けます。わたしは日本にいるときいつもでんしゃをつかいました。

日本のみちはごみがあまりなくてきれいで、くるまもビルもきれいです。どこでもアスファルトと敷石でできています。1センチの小さなスペースでも、田んぼ、こうえん、森、にわなど、なにかのためにつかっています。どこにいても日本人のかがえかたを見ることができます。みちやでんしゃなど、落書きをぜんぜんみませんでした。日本人はほんとうにきりつをまもるひとたちですね。



夜の大阪

まちをさんぽするとき、みちにゴミばこがありませんでした。ゴミばこは、じどうはんばいきやスーパー、カフェ、レストランのよこにあります。これはすこしふべんで、ごみをもって

あるきました。カザフスタン日本センターで、日本人はごみを分けてすてるのを知っていましたから、私はにほんにいるとき、ごみをわけてすてました。

私はカザフスタン日本センターのせんせいから、またインターネットから、日本人はじどうしゃより電車と自転車にのると聞いていました。日本に来てじぶんでそれを見ました。じてんしゃにこどもからおとしりまでのります。どこに行ってもじてんしゃのためのみちがあります。日本のとおりは、でこぼこじゃなくて、みちあんないも新しいみたいです。ざんねんですが、私のくにでは、じてんしゃのみちはあまりないし、みちあんないはふるくなってみえません。日本ではいろいろなじてんしゃがあって、ふつうのじてんしゃからスポーツのじてんしゃまであります。また、ペダルをまわさないでうごくでんきじてんしゃをみました。日本人はじてんしゃの車りんにかぎをかけるだけなのにびっくりしました。チェーンをつけるのは高い自転車だけです。私のくにで、車りんにかぎをかけるだけのじてんしゃはぬすまれてしまいます。日本でははんざいがすくないことがわかります。

もうひとつ、はんざいについて。ちいさい店にはカメラがついてなくて、店員が店の中に入れて、しょうひんはそとにおいてあっても、だれもぬすみません。店員ときやくにしんらいがあることが気に入りました。

自動車。日本の自動車のかたちはおもしろいです。ちいさくて、しかくくて、れいぞうこににています。

日本のトイレ。日本のトイレはおもしろいです。日本では、クラシックなものから、日本的なボタンがたくさんあるハイテクトイレまで、いろいろなトイレを見ました。ここにもせつやくの心があります。私はトイレタンクの上に、てあらいのスペースを見つけました。とても便利です。水と場所のせつやくですね。日本のせんめんじょはとてもきれいで、きたないトイレはありませんでした。私の国のスーパーの中にあるトイレより、日本のそとにあるせんめんじょのほうがずっときれいでした。

ほとんどすべて日本のせんめんじょには、しょうがいしゃのためのせつびがあります。たとえば、しょうがいしゃがつかえるトイレがあります。トイレだけじゃなくて、どこにいても車いすをつかっているしょうがいしゃのためのせつびがあります。いろいろなところに、目がわるい人のために点字でかいたあんないがあります。しょうがいしゃも社会のいちいんとして、ふつうにせいかつするために、いろいろなはいりよがあることにおどろきました。

しゅうまつは大阪市にいきました。私は大阪市が気に入りました。かいてきでべんりです。大阪市はかんさいセンターがある市外とちがいます。大阪市はいちにちじゅう、うるさくてにぎやかです。いろいろなみせ、カフェ、レストラン、たかいビル、ホテル、あか



るいこうこく、ネオンサインなど、たくさんあります。しかし、こう外にはあまりひとがいなくて、ときどきくるまやじてんしゃがみえるだけです。こうこくはせいじかのほりがみだけです。なんばをさんぽしたとき、ゲームセンターにはいりました。さいしょ、ゲームセンターは1かいだけだとおもいましたが、5かいまでぜんぶゲームセンターだと聞いてびっくりしました。ゲームセンターには、いろいろなゲームキがあります。ひとがおおくてにぎやかです。また、パチンコはヤクザのものだときいていましたが、店にはいりました。パチンコはピンボールみたいなゲームです。日本でとても人気があって、人が多いです。なかはタバコのおいで、くさいです。いつもたくさんのおとながパチンコをしています。レストランのガラスケースにおいてあるしょくひんのサンプルはもおもしろいです。ほんものみたいでおいしいそう、たべたいとおもわせます。



大阪のたてものもおもしろいです。ビルのかたちがいろいろで、それぞれにいていません。日本的なたてものはおもしろいです。日本人は黒い木をうまくつかって、きれいにたてものをたてます。大阪のマンホールはほんとうにげいじゅつさくひんで、とてもきれいですね。もし、私のくににそのマンホールがあれば、だれかうちにもってかえます。

なんばと「Universal Studio Japan」でアニメ、マンガ、コンピューターゲームのキャラクターのコスプレをするわかものをみました。おもしろくてきれいですね。



それから、日本でどこに行っても、じどうはんばいきがあります。じどうはんばいきでは、たべもの、飲み物、たばこなど、いろいろなものをかうことができます。これは日本でいろいろなことがきかいかされているということです。

京都と広島をりょこうしたとき、そのときにとおった大阪、京都、こうべはぜんぶひとつの大きなまちだとおもいました。どこでどんな町がはじまるのか、どこでおわるのか、わかりませんでした。

広島にいる時、とてもふるいろめでんしゃをみてびっくりしました。でもあとで、このろめでんしゃは広島のめいぶつだとわかりました。

日本のちずで、お寺やじんじゃは卍(まんじ)の字をつかっているのをみてびっくりしました。私の国でまんじはナチスのシンボルですから、おもしろいです。

それから、マスクをかけているたくさんの日本人をみて、おもしろかったです。日本人はほんとうにやさしいです。いつもたすけてくれます。たとえばえきからどうやっていくか、とおりを聞いたりして、たすけてもらいました。大阪市のなんばでは、むりょうで外国人をたすけるボランティアの人がたくさんいます。みせのひとはとてもいねいです。かんじがよめないとき、えらぶのをこまっているとき、いつもたすけてくれました。なにもかわないで、みせをでるときも、いつもありがとうございますと言います。



日本ではよるは、はやくくらくになります。あさもたいようははやくのぼります。「ひいずるくの国」ですね。

天気はあまりよくなかったです。雨がよくふったり、くもりの天気でした。日本の天気はカザフスタンよりあたたかいとおもいましたが、でもじつは同じくらいでした。

日本にりょこうして、わすれられないおもいでができました。あらためて日本のことを学びました。日本についてあたらしいじょうほうをえることができました。カザフスタン日本センターでべんきょうした日本語やでんとうぶんかなど、日本でとてもやくにたちました。カザフスタン日本センターのおかげで、カルチャーショックやふかいかんをかんじませんでした。

カザフスタン日本センターとその先生がた、こくさいこうりゅうききん、日本せいふ、このチャンスをくださったみなさん、たいへんありがとうございました!